

# 社会の領域における

## 幼児の観察について

長谷川朝子

私たちの日々の指導は、やりっぱなしではなく、幼児の生活状態を連続的に観察し、記録して、その結果をみれば、幼児の生活の実態がはっきりし、指導の鍵をつかめることが多い。「より能率的により効果的に観察記録をするために、どうしたらよいか」をするために、この研究をはじめた。

### 一、観察の観点の分析

まず社会の領域における指導内容として、次の五項目が示されているが、このままではばく然としているし、客観的にこれを評価することはむずかしいので、観察しようとする観点たとえば「自分のことは自分でする」に含まれる内容を考えてみたわけである。これもあまり細かく分析してしまうと大そう煩雑になる。はじめ十五、六に分析したものをだんだんしばっている時、三二年度の幼稚園教

育指導者講座に愛知県から出された案を参考にして下の第一表のようなものにした。

### 二、観察の場と機会

観察の場と機会は項目によっていろいろである。次頁第二表は、その一例である。  
 上履と下履の区別をするのは登園下園のほか、園庭に出て遊ぶ場合にも観察できる。  
 一つの観点はただ一回だけ観察するのではなくて、何か月にもわたる場合、一か月のうち何回も繰り返して観察するということが普通である。

### 三、観察の記録の方法

記録の方法として次の点を考えることが重要である。  
 観点をきめて全員を一わたりすること。  
 手軽に持ち歩きのできるものであること。

第一表

は と る こ と	自 分 の 事	と り あ ら い の 事	と り あ ら い の 事	と り あ ら い の 事	と り あ ら い の 事	と り あ ら い の 事	と り あ ら い の 事	と り あ ら い の 事	と り あ ら い の 事
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

・ 記入が手軽にできる形式であること。  
 ・ 保育中でも記録できるもの。  
 ・ 続けて記録できるもの。  
 ・ 今日観点としてきめてはいないが、この行動は、この幼児を理解する上に記録しておく

第二表

項目	きまりを守る		
	4.7	4.9	4.16
	中の下り や廊下を へやき守 り	あがさ いでさ き	遊事 びの を
氏名	先生につ き登園	先生につ き登園	遊事 びの を
A	○	×	○
B	○	○	○
C			
D			

注 ○すこすこ云々  
●すこすこ云々  
×すこすこ云々

必要があると認められたもの。

このように考えて次の二つの方法をとることにした。すなわち

(1) 名簿式一覽表 (行動目録法)

(観点をきめて幼児の行動を観察する場合)

形式は月日、観点、場と機会を記入し、大

氏名	氏名

○×で記入するので時間がかからない。

名簿をノート  
最初と最後の頁  
にはっておくと  
どの頁をひら  
いた時にもこの名  
簿が利用できる。

一頁に十二、三項目の観点で記録できるの  
で、時日の経過と進歩の経過がすぐわかる。  
・ 観察の結果が要素的になり、正確さも増す  
わけである。

(2) 日記的観察記録

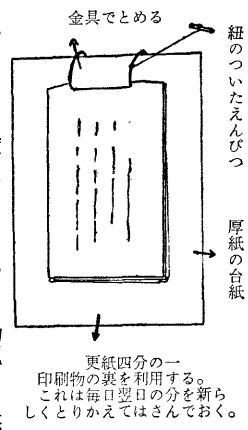
(保育中、随時随所におきた行動をみ  
たままに記録する場合)

・ ルーズリーフのノートを使用して初めはひ  
とりごと、一枚宛用意するがたくさん記録し  
て紙が不足すればまた別の紙を綴じ込めるよ  
うにしておく。

氏名	続柄	生年月日
月日	天気	
4.7	天晴	
○		
4.24	金晴	
○		
○		

返事もよばれても返事をしない。  
椅子がないといつまでも立ったままている。  
朝の自由あそびの時、ハンカチにアイロンかけたの誰?、ときいたら「おかあさん」小聲で返事はあがる、はじめて返事をした。

これは保育中に記入するのは無理なので、左記のような紙に走りかきしておいたものを、幼児が帰宅した後で、まとめて記入しておくといった方法をとっている。



いろいろな場面でおこなわれる幼児の自然のままの行動を記録することができる。  
・ 教師は集団全体への配慮のほかに、個々の幼児を理解し、指導していくことへの関心が高められる。  
・ 保護者に園での幼児の実態を理解させ、家庭におけるそれと比較させ、具体的にその子どもをとる行動を知らせることができる。  
・ ながい期間記録すれば、その子の主要な発達史ともなる。  
・ AとBが上靴のまま庭のブランコに行こうとしたのをとがめた。Aはすぐ戻って下靴とはきかえたが、Bは言うことをきかなかつた、というような場合、三人の行動が一時に記録できる。(これを整理する時は三人の所にそれぞれかいておく必要がある。)

(福島第二幼稚園)